

# ARTS PRESSES

KANAGAWA



CREATOR'S VOICE 116 演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰

## 岡田利規

現在進行形の「空気」を形にしたい  
新作『ゾウガメのソニックライフ』

2011年1月オープン!  
神奈川芸術劇場(KAAT)誌上バックステージツアー  
クリスマスに注目!  
県民ホールと音楽堂 年末年始のおすすめ!

# 岡田利規

Toshiki Okada 演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰

## 現在進行形の「空気」を形にしたい

出世作『三月の5日間』を2004年に発表して以後、岡田利規率いる「チェルフィッチュ」の舞台はベルギーやフランスをはじめとする欧州各劇場で、次世代の演劇として注目を集めている。句読点を置かずにだらだらと垂れ流されるセリフと、まったく言葉と相関関係のない歪な身体表現。そこから生まれる閉じた不安感は、実に現代日本的。新作『ゾウガメのソニックライフ』の執筆前に、自身の活動を分析してもらった。

—岡田さん率いる「チェルフィッチュ」は、2007年にベルギーの先鋭的国際演劇祭「クンステン・フェスティバル・デザール」にて『三月の5日間』（04年）を上演して以後、途切れることなく海外公演を続けられています。「チェルフィッチュ」の作品は、漫画喫茶、ラブホテルなど現代日本的な場所性をあえて用いて作品を提示されますが、岡田さんは海外の観客に自分の作品をどう楽しんでもらいたいと考えているのでしょうか。

僕の作るような実験演劇ならではの価値があるとするならば、それは作品を通して共感と呼ぶのではなく差異を際立たせることにあると思います。文化的な差異や、方法論的な差異。それをあえて提示しちゃうことで摩擦を生みだす。そこに価値があるわけです。とはいえ、その差異を「すごい日本的でおもしろいね」と、エキゾチズム一辺倒な視線から評価されると正直きつい。僕としては、内容的には日本の独自性を提示すると同時に、形式的・美学的なところでは欧米の文脈にも通ずる何かを提示したいと考えているんです。つまり文化的な差異と形式的な普遍性、この二つが互いに補完しあって受け止められることを、僕は海外公演の際には大切にしているように思います。

—提示した作品に対して、海外ではどのような質問を受けることが多いのでしょうか。

能から影響を受けているのかとか、舞踏と関わりがあるんじゃないかとか、日本的な文脈から質問を受けることがわりとあります。でもそういう質問を受けても、僕自身どう答えたらいいかわからない。だって日本人だからまったくそれらの文化に影響を受けていないとは言えないまでも、別に幼いころから能に親しんで育ってきたわけじゃないですからね(笑)。それと同じことで



「劇中、なんで西洋の音楽を使うんだ?」と問われても答えに窮してしまう。雅楽みたいな音階がいちばん親しみやすいのだろう、と向こうの人たちは考えるみたいなんですけど、そんなこと全然ないですからね。僕ら世代の日本人にとっては「西洋と東洋の文化が等距離な場所にある」。それはどうやら説明しないとわからないみたいです。

—岡田さんは『三月の5日間』ではイラク戦争を取り上げられ、『エンジョイ』(06年)では若年層の非正規雇用問題に焦点をあてられ、創作の初期段階から多く社会性のあるテーマを選ばれてきました。演劇を介して社会に対してどう働きかけようと考えているのでしょうか。

正直、僕はすごい社会とかのことを意識的に考えている人間ではないんです。でもゼロではないし、ゼロになることはできない。どんな人間がどんな個人的なことを書いたとしても、それはどうしても社会に届くものになってしまう。もちろん僕の作品を見て、ひとつのネタとして戦争を取り扱っているだけで「全然、社会性がない」と非難する人はいると思います。でもそれは別に気にしません。だって僕のようなスタンスでしか、社会的なことに関われない人間というのは他にもたくさんいるわけですね。だからたとえ僕という劇作家が個人的に批判されたとしても、それは実は僕個人への難詰ではなく、僕のようにしか社会と関わりを持つことができない若者総体に対しての先行世代の苛立ちの表明だと思うんです。そういう声が、僕の作品を通して顕在化するのとはとてもいいことだと思っています。

—岡田さんはつねに、ロスト・ジェネレーションならではの不安感や不感症感のようなものをヴィヴィッドに捉えて作品化されてきました。ご自身の立場がフリーターから世界的に評価される劇作家に変わったことで、そのような空気感に対しての捉え方が変わった部分はありますか。

いや、それは変わってないですね。もちろん僕自身は、問題の当事者ではなくって来ているんですけど、今のところそうした空気感から離れることはできない。というか、そこから離れてしまうと、何を表現したらいいのか分からない。もっと言えば僕は毎回、そうした不安感のようなものを表現するために新たな方法論を模索しているだけで、それさえ表現できれば手法はなんでもいいんです。だから今回の新作『ゾウガメのソニックライフ』でも、新しい方法論を試す予定です。

—どのような方法論を模索される予定なのでしょう?

新しいとはいっても、まったく新しい方法論を作ることは無理です。どうしても使っている部品は同じになってしまう。ただ機構は同じでも、できあがってくる製品の見え方は異なるものが作れるはず。そんな漠然とした夢が、今のところ僕のなかにはあります(笑)。あと今回は、もう少し社会性の薄い作品にトライしたいと思っています。もちろんその結果、なにか社会的なものが滲み出てくる必然性はあるわけですけどね。

—岡田さんは神奈川芸術劇場のクリエイティブパートナーにも任命されました。この立場を生かして、今後どのように劇場と社会とをつなげていきたいと考えていますか。

ものすごく率直に思うのは、えてしてアーティストなんて人種は自分の創作のことしか考えていなくて、すごく偏ったものの見方をしているということ(笑)。だから僕が神奈川芸術劇場に携わるとしても、すごく偏った意見でしかアドバイスができないと思うんです。でもそんな偏りのある僕だからこそ言える意見も必ずあるはず。それがうまく作用すれば嬉しいなと思います。

(取材・文 岩城京子/神奈川芸術劇場クリエイティブパートナー)  
(写真 大野純一)



岡田利規(演劇作家、小説家)  
Toshiki Okada

1973年、横浜生まれ。「チェルフィッチュ」主宰。97年に「チェルフィッチュ」を結成し、横浜を拠点に活動。2005年『三月の5日間』で第49回岸田戯曲賞を受賞。07年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』を発表、翌年第二回大江健三郎賞受賞。演劇のみならず、美術、文学など多方面から注目を集める。10年9月あいちトリエンナーレにて『わたしたちは無傷な別人である』を発表。11年初春には最新作『ゾウガメのソニックライフ』のツアーを控えている。2007年、神奈川文化賞未来賞。神奈川芸術劇場クリエイティブパートナー

## 岡田利規氏 公演情報(日本)

「チェルフィッチュ」  
『ゾウガメのソニックライフ(新作)』  
ツアー(作・演出:岡田利規)

- 2011年2月2日(水)~15日(火)  
神奈川芸術劇場(KAAT)  
☎045-662-8866(チケットかながわ)
- 2月26日(土)~27日(日)  
水戸芸術館ACM劇場  
☎029-227-8123
- 3月4日(金)~5日(土)  
富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ(埼玉)  
☎049-268-7788
- 3月13日(日)  
山口情報芸術センター[YCAM]  
☎083-901-2222

DVD作品 岡田利規+塩田千春共作、  
出演「チェルフィッチュ」  
「<記憶の部屋について>」のドキュメント」  
precog web shopにて2,500円で販売。  
<http://precog.shop-pro.jp/>

## COLUMN 今月の小コラム

## 岡田利規さんにQ&A

—岡田さんは神奈川生まれの神奈川育ち。県内のお薦めスポットを教えてください。

結婚して子どもが生まれるまでの2年ぐらい、東横線の白楽駅近辺に住んでいたんです。すごく居心地が良かったんで、みんな白楽に行くといいと思います。まあ、何にもないんですけどね。また住んでみたい町のひとつです。

—横浜市南区で幼少期を過ごされたそうですが、その頃の原風景で覚えていることはありますか。

1973年生まれって第二次ベビーブームのピークなんです。だから僕が育った南永田団地にも、同世代の子どもたちがバーツと大勢いて、そんな子たちの一人として育った

記憶があります。とはいえ外部の人から「同質な子どもたち」と言われると、すごく抵抗感があることも事実。そんなことはないと思うんですよね。いや、もしかするとそうなのかもしれないですけど。

—急な坂スタジオやSTスポットなど横浜の小劇場を活動拠点になさっていますが、同劇場などで注目している若手作家がいたら教えてください。

岡崎藝術座主宰の神里雄大君かな。誕生日が同じなんですよ。とりあえずそれだけです。正直なところ、彼の作品は僕にはちっとも分からない。でも彼が俳優と密な仕事をしていることは間違いなくて、そこはすごく好きです。

「3つのつくる」モノをつくる  
～芸術の創造人をつくる  
～人材の育成まちをつくる  
～賑わいの創出」は、この施設からスタートする

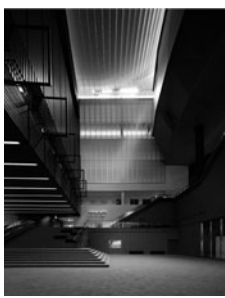
# 神奈川芸術劇場〈KAAT〉誌上バックステージツアー

2011年1月のオープンに向けて、いよいよ急ピッチで準備を進めている神奈川芸術劇場。創造型劇場の「3つのつくる」というテーマを実現させる、さまざまな劇場機能を紹介します。

(取材・文 オヤマダアツシ)

## 1. アトリウム

高さ約30mの広いエントランス空間は、公演観賞のために来場するお客様だけでなく、気軽に誰もが入れるNHK横浜放送局との共有オープンスペース。イベントや公開放送なども行われ、街のにぎわいの発信地としても機能します。回廊状のエスカレーターでフロアを上がると、2階正面にはチケットカウンターがあり、3階の中・小スタジオや音響製作室を見下ろしながら5階に上がると、開放的な外光にあふれた劇場メインロビーがお迎えます。



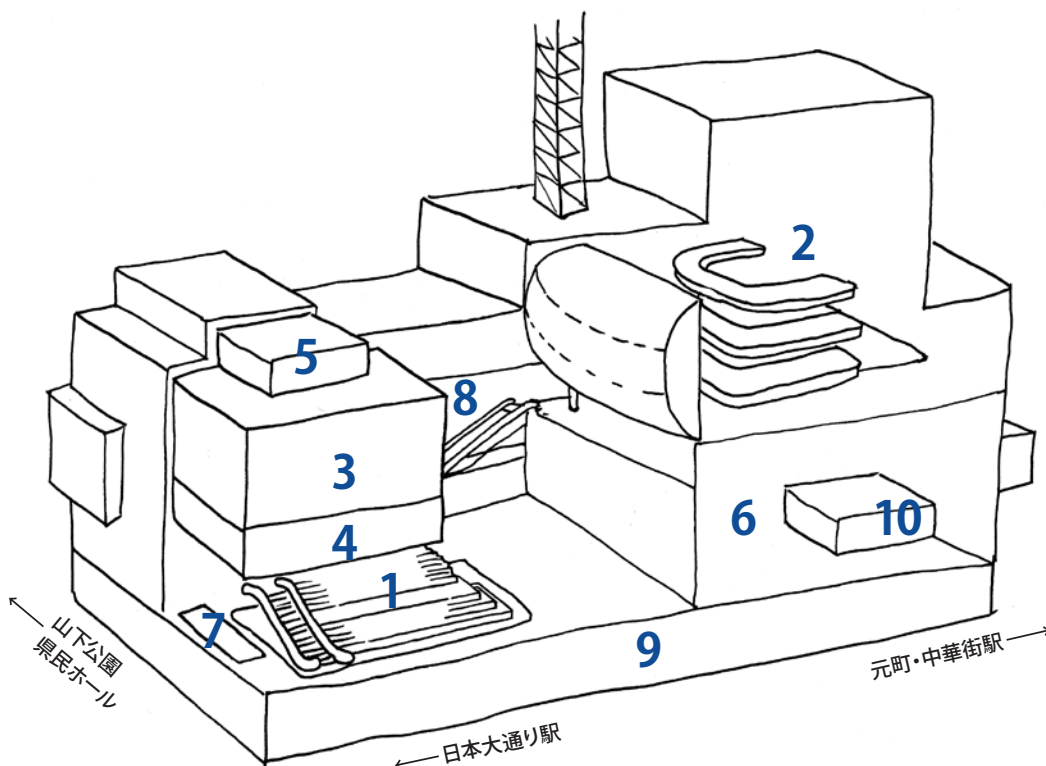
## 2. ホール(5～8階)

欧米の劇場を彷彿とさせる馬蹄形の客席は、最大で約1,300席の設置が可能。1階席の客席床が昇降式であるため、傾斜を変えることができ、演目ごとに客席の空間が大きく変貌します。オーケストラピットを設置したり、フラットにして広い平面を作ったり、花道を作ることもできるため、幅広い演出や舞台づくりに対応。ホワイエにはbuffetがあり、開演前や休憩時にアトリウムを眺めながら過ごせるカウンターも用意されています。またトイレの設計にも気配りがあり、特に女性用トイレの多さや化粧スペースは特筆もの。舞台裏に回れば、安全性に配慮した作業空間や機能的な舞台監督卓、自由に舞台機構をデザインできるステージ床など、クリエイターの創造力を最大限にサポートする設備が充実しています。



## 3. 大スタジオ(5～7階)

約400㎡の大型多目的スタジオであり、座り心地を考慮した専用客席を設置すれば約220席の小劇場空間としても機能する、高い創造性を有した自由な空間。全面フラットの大規模な稽古場として活用する場合は、約8mという高さを活かし、照明プランや演出の可能性を拓げます。創り手にも使い勝手のよい場であり、「モノをつくる」という劇場の目的を具現化した「創造の場」だといえるでしょう。この空間をどのように活かせるか、というクリエイターの可能性を問う場でもあり、ここから生まれるオリジナリティに期待が高まります。



## 4. 中・小スタジオ(3～4階)

大きなガラス窓から明るい外光が入り込む、開放的な稽古場。中小の2つのスタジオを一体で利用することにより、広い空間を確保できると同時に、可動式の間仕切りを設置することで「中スタジオ/小スタジオ」に分割使用ができます。また客席を設置して小規模の公演会場としても使用でき、間仕切りの活用で小スタジオを舞台裏や楽屋代わりに使用することも可能に。演劇、ミニコンサート、映画上映、イベント会場等、企画次第で自由に使える可能性を有し、新しいアイデアの発信場所としても期待できます。広い空間にさまざまな機材やセットの配置ができるため、稽古場として利用する際にも創造の可能性が広がります。

## 5. アトリエ(8階)

ダンスなどの練習にも適した、足の負担を軽減する弾性の高い床面、壁一面の鏡、屋上庭園に面した開放的な温かい雰囲気などが特徴の稽古場。長期的な稽古使用を想定した簡単なキッチン設備も併設し、居心地のよさを実現しました。



## 6. NHK横浜放送局 7. レストラン

同じ建物内にあるNHK横浜放送局は、公開放送やアトリウムでのイベントも開催予定。1階には観劇前後の食事や待ち合わせにお立ち寄りいただける、おしゃれなレストランがあります。

# KAATを支えるクリエイターたち



#3  
堀内真人  
神奈川芸術劇場  
舞台技術課  
テクニカル  
ディレクター

今回登場の堀内真人<sup>まひと</sup>さんは、神奈川芸術劇場(KAAT)が誇る舞台技術課の頼もしいリーダー。KAATが創造型劇場として一番に掲げる「作品づくり=モノづくり」のために、堀内さんがこの劇場で目指したいこと、そして若いスタッフたちへの思いを聞きました。

「作品を生み出していくことがこの劇場のミッションのひとつですが、舞台技術課や堀内さんはそこでどんな役割を担っていますか？」

舞台機構、照明、音響の3つのチームに分かれ、それぞれの持ち場の技術面での作品づくり、稽古や上演に関わります。劇場の自主制作の場合だけでなく、この劇場で行われる全ての公演において、劇場の技術運営スタッフとして高機能な劇場設備を活用し、積極的にサポートしていきます。

さらに特徴的なことは、作品づくりにおけるさまざまな情報を集約してマネジメントする“プロダクションオフィス”というチームがいることです。モノづくりの現場にはいろんな立場の人、例えば…演出家、舞台セットや照明、音響などのデザイナー、それを具現化するオペレーターなどがいて、その人たちはその都度いろいろな要求をそれぞれの優先順位で持っています。その彼らの意見を集め、舞台空間だけでなく時間や予算にもいちばんいいレイアウトを実現していくために、情報を集約する交差点、交通整理をする役割が必要なんです。

日本ではこの交通整理は近頃まで舞台監督が担うことが多かったのですが、「毎日安全確実に、そして同じ高いクオリティで上演をおこなう」という一番大事な役割に舞台監督には集中してもらい、それをも含めた各パートの立場を俯瞰して交通整理



セット等の荷降ろし、製作、修理等を行う大道具製作室。舞台技術課の高い能力が発揮される場所のひとつ。

をしていく立場をとっていくために、プロダクションオフィスというチームが必要になるのです。

「KAATには「人材の育成=人をつくる」というミッションがありますが、

意識的に若い人々を我々のメンバーに入れていき、次世代の舞台技術者を育てていこうと思っています。現にKAATには20代の若者たちがいて、日々第一線に出てがんばっています。何年かして彼らが基本を覚え、舞台技術者という仕事の本質はアーティストの表現を技術面で最大限支えることだということが分かってくると思います。そして、さらに自分から行動できる高いスキルを得た時、この劇場で力をつけたことを看板に、プロとして一本立ちして旅立っていける、そういうふうな場所にしていこうと思っています。

(取材・文 渡辺美和子)

劇場のフロアガイドなど、施設案内はホームページで! <http://www.kaat.jp/>

## 8. 託児室

公演を限定して実施する予定の有料託児サービス用スペース。床には柔らかいコルク材を使用するなど、子ども向けにさまざまな配慮がなされています。

## 9. 地下有料駐車場

来場者や近隣観光客のための駐車場は、普通自動車65台、バイク8台(400cc以下)を収容。雨天でも濡れることなくエレベーターで劇場内へ入れます。

## 10 大道具製作室

劇場スタッフが舞台セットや小道具などを試作・製作・修理するため、多種多様な工具機械や材料を用意した作業スペース。スタジオ等で試演したものをすぐに直せるなど、モノづくりのバックアップ態勢も充実しています。

## 楽屋

トイレ・シャワー付きの個室から大部屋まで、明るく使い勝手のよい楽屋を完備。立ち姿も映せる大型の鏡を設置した化粧台、楽屋ドア上の暖簾用フックなど、徹底的に出演者の使い勝手を優先させました。

## 衣裳室

さまざまな材質やサイズ、特別の縫製などによる衣裳の製作や修繕などを手掛ける場であり、必要な道具類も完備。一から製作できる場としても機能するという目的も考慮された、まさに創造の現場です。

## 洗濯室

公演や練習で使用した衣裳を、短時間で洗濯・乾燥しなければならぬため、二槽式の洗濯機も配備。洗濯機と乾燥機がいくつも並ぶ光景はまるでコインランドリーのように。

## 搬入リフト

ホールの搬入用は横幅が8.8mもある、日本一のワイド仕様リフト(エレベーター)。外部で製作したり、大道具製作室で組み立てられた大型の舞台セットも、安心して搬入できます。

## 神奈川芸術劇場<KAAT>からのお知らせ

ホームページがリニューアルしました!

最新ニュース満載のKAAT新ホームページ <http://www.kaat.jp/>



twitterはじめました!

公式アカウント@kaatjpで、最新の情報をお知らせしています。

<http://twitter.com/kaatjp/>

ハッシュタグ#kaatjpを使ってKAATについてつぶやこう!

各主催公演のハッシュタグもあります。気になる公演についてつぶやこう!

- #kinkakuji\_kt 金閣寺
- #zougame ソウガメのソニックライブ
- #tpam\_kt 国際舞台芸術ミーティング in 横浜
- #kappa\_aru\_kt Kappa/或小説
- #sonezaki\_kt 杉本文楽・曾根崎心中
- #orin\_kt はなれ瞽女おりん
- #bui\_kt 浮城

# クリスマスに注目!

街のあちこちから聞こえる歌  
イルミネーションの輝き  
静かな教会で体験する祈り  
家族や恋人と過ごす大切な時間。  
寒い冬に火を灯すクリスマスは  
人の心に豊かさを運びます。  
音楽や本、アートや舞台などが  
幸福へと誘ってくれるでしょう。



ジャンボツリー発祥の地、宮ヶ瀬(愛甲郡清川村宮ヶ瀬)の30メートルを超えるクリスマスツリー。全長315メートルの吊り橋や宮ヶ瀬水の郷商店街もイルミネーションで飾られる。25回を迎える今年は11月27日(土)~12月26日(日)に開催。点灯時間:17時~23時。問い合わせ:☎046-288-1340



## 欧米では「第九」ではなく「くるみ」?! 家族みんなで感動できるバレエ

日本の12月といえば、風物詩にさえなっているのがベートーヴェンの「第九」。しかし欧米ではその代わりにバレエ『くるみ割り人形』が大人気だ。有名な「花のワルツ」「金平糖の踊り」などを含むチャイコフスキーの華麗な音楽に彩られたこの作品は、主人公の少女がクリスマス・イヴの夜に夢の国へと招待されるファンタジー。家族みんなが楽しめる演目であり、大人も童心に帰ることができるので、一家の思い出作りにも最適だろう。



## 魂を揺さぶる本物のゴスペル マヘリアに出会うと世界が変わる

キリスト教(プロテスタント)の信仰から歌が生まれ、音楽ジャンルのひとつとなったゴスペル。中でも「女王」と呼ばれたシンガー、マヘリア・ジャクソンの感動的な歌を聴けば、真のゴスペルに宿るスピリットに圧倒されるだろう。誰もが知る賛美歌やキャロルなどを深い祈りとして歌い上げるクリスマス・アルバム『きよしこの夜』を聴きながら、来年が生誕100年となる彼女にあらためて注目。若い人にぜひ知って欲しい「魂の歌声」だ。



## サンタクロースは本当にいるの? 今なお語り継がれる新聞の社説

1897年9月21日、アメリカの新聞「ニューヨーク・サン」紙の社説に「サンタクロースっているんでしょうか?」と題された一文が掲載された。8歳の少女から送られてきた「友だちはいないと言うけれど、サンタは本当にいますか?」という手紙に、同紙のチャーチ記者が答えたもの。見えないものを信じる心、愛することの大切さなどをやさしく子供に説いた文章は、現在もクリスマスの時期になると話題に上り、書籍「Yes, Virginia, There Is a Santa Claus」等を通じて読まれている。

(オヤマダアツシ)

## >PICK UP

### 松山バレエ団 2010クリスマス公演 「くるみ割り人形」全幕

12月11日(土)15:00開演  
神奈川県民ホール 大ホール  
クリスマスのバレエといえば「くるみ割り人形」。森下洋子と清水哲太郎の名コンビが、チャイコフスキーの幻想的な音楽とともに、夢物語にいざなう。  
S席9,000円 A席7,000円 B席6,000円  
C席4,000円 それぞれベア席あり  
子供券(3歳~小学校6年生)5,000円  
※2歳以下は入場できません  
お問合せ:松山バレエ団  
☎03-3408-7939

### クリスマス・ゴスペル2010

#### グローリー・ゴスペル・シンガーズ from New York

12月15日(水)19:00開演  
海老名市文化会館  
12月22日(水)19:00開演  
茅ヶ崎市民文化会館  
12月23日(木・祝)14:00開演  
よこすか芸術劇場  
ゴスペルの名曲「アメイジング・グレイス」などを熱唱。温かいメロディーでHOTなクリスマスを。  
海老名:全席指定6,300円  
茅ヶ崎・よこすか:S席6,500円 A席6,000円  
お問合せ:テイト・コーポレーション  
☎03-3402-9977

### 横須賀芸術劇場少年少女合唱団ステージ17 親と子のための

#### クリスマス・コンサート'10

12月19日(日)15:00開演 よこすか芸術劇場  
指揮:武田雅博 テノール:中鉢聡  
ピアノ:洲上千里、水戸見弥子  
全国でも珍しい劇場専属の児童合唱団が、「きよしこの夜」からフランクの「天使の糧」まで、親子で楽しめるクリスマス名曲集を披露する。  
大人1,200円 子ども(3歳~中学生)800円  
※3歳未満は入場できません  
お問合せ:横須賀芸術劇場 電話予約センター  
☎046-823-9999

## 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 演奏会案内

### 第267回定期演奏会

2010年12月3日(金) 開演19:00(開場18:20)  
横浜みなとみらいホール 大ホール

指揮:現田茂夫

遠藤真理\*(チェロ) 幸田浩子(ソプラノ) 山下浩司(バリトン) 神奈川フィル合唱団  
團伊玖磨/管弦楽のための幻想曲「飛天繚乱」

サン=サーンス/チェロ協奏曲第1番\* フォーレ/レクイエム

全席指定 S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B)1,000円  
シニア(70歳以上)は各席種2割引にてお申し込みいただけます。

お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス ☎045-226-5107(平日10:00~18:00)  
http://www.kanaphil.com/ ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

## 神奈川近代文学館 企画案内

### 常設展 文学の森へ 神奈川と作家たち

#### 一第3部・太宰治、三島由紀夫から現代まで

2010年は三島由紀夫が自衛隊市ヶ谷駐屯地で衝撃的な最期を遂げてから40年、そして生誕85年にあたります。

今回の常設展では、諸作家との交友や、舞台化・映像化作品をクローズアップするコーナーを設け、あらためて三島の業績を見直します。

11月20日(土)~1月10日(月・祝)

※休館日は祝日を除く毎月曜日と、12月27日~1月4日です。

大人250円 20歳未満および学生150円(高校生以下、65歳以上は無料)  
県立神奈川近代文学館 第2・3展示室 〒231-0862 横浜市中区山手町110

☎045-622-6666 http://www.kanabun.or.jp/

# 神奈川県民ホールと県立音楽堂がおすすめします！ 年末年始の公演情報

いろいろあった2010年も残りあとわずか…。家族と穏やかに1年を振り返りたい人にも、来る2011年に捲土重来を期す人にも、県民ホールと音楽堂は幅広いラインナップでお応えします。選りすぐりのアーティストたちの公演から、たっぷりと新年へのエネルギーを受けとろう！



12/17(金) 音楽堂  
 「ゲヴァントハウス弦楽四重奏団」



12/18(土)・19(日) 県民ホール 小ホール  
 「パイプオルガン・クリスマスコンサート2010」  
 荻野由美子(オルガニスト)



12/29(水) 県民ホール 大ホール  
 「ファンタスティック・ガラコンサート2010」  
 上野水香(東京バレエ団)



1/15(土) 音楽堂  
 「エレヌ・グリモー ピアノ・リサイタル」

公演日時	会場	タイトル	料金	おすすめ	託児
12月11日(土) 15:00	県民ホール 大ホール	松山バレエ団 「くるみ割り人形」全幕	S9,000円～ C4,000円 他	森下洋子、清水哲太郎主演！ 松山バレエ団オリジナル「ジングルベル組曲」がクリスマス盛り上げる！	なし ※3歳以上は入場可
12月12日(日) 14:30	音楽堂	第45回クリスマス音楽会 「メサイア」演奏会	全席指定 1,000円	小泉ひろし(指揮)、神奈川県合唱連盟(合唱)、神奈川県フィル 他	あり
12月17日(金) 19:00	音楽堂	ゲヴァントハウス弦楽四重奏団	全席指定 一般4,500円 他	結成200年。歴史と伝統を誇る世界最古の弦楽四重奏団。	あり
12月18日(土) 各日 12月19日(日) 15:00	県民ホール 小ホール	パイプオルガン・ クリスマスコンサート2010 聖夜に響くきらめきのオルガン&プラス	全席指定 一般3,500円 他	4人の金管楽器の名手たちと共に、音楽を楽しむ 素敵なクリスマスをお届けします。 パイプオルガン: 荻野由美子	あり
12月24日(金) 18:30	県民ホール 大ホール	レニングラード国立バレエ 「くるみ割り人形」	S13,000円～ D4,000円	雪と妖精が舞う、夢いっぱいクリスマス・ストーリー。	なし
12月26日(日) 15:00	県民ホール 大ホール	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 名曲シリーズ「第9」	S6,000円～ B3,000円 他	年末恒例、ベートーヴェンの「第9」。常任指揮者、金聖響のタクトで！	なし
12月29日(水) 15:00	県民ホール 大ホール	ファンタスティック・ガラコンサート2010 「絢爛のオペラ&バレエ」	S7,000円～ B3,000円 他	恒例、松尾葉子(指揮)&宮本益光(司会・バリトン)のコンビが贈る豪華な コンサート。日本を代表するプリマ・上野水香も出演！	あり
2011年 1月15日(土) 15:00	音楽堂	エレヌ・グリモー ピアノ・リサイタル	全席指定 一般5,500円 他	美しきピアノの巫女、グリモーの紡ぐ響きを、木のホール音楽堂で！	あり
1月21日(金) 12:20	県民ホール 小ホール	パイプオルガン・ プロムナード・コンサートVol.301	入場無料 全席自由	お昼休みのお楽しみ！今回は初垣佳子の演奏で。	年齢制限なし

※ペア券、学生券等の設定のある公演もございます。詳しくはホームページをご覧ください。 ※特に記載のない公演は未就学児入場不可です。  
 主催・共催 神奈川県民ホール、神奈川県立音楽堂(ともに指定管理者:(公財)神奈川県立芸術文化財団) 託児サービス(要予約):チャイルドサービス遊 045-790-4105(月～土 9時～18時)

チケットの  
お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866  
 (電話10:00～18:00/県民ホール窓口10:00～18:00/音楽堂窓口13:00～17:00月休)

**ヨコハマフード!! 2010**  
 ～ストリートミュージシャンフェスティバル横浜～  
 ファイナル  
 アマチュアミュージシャンが、部門ごとに神奈川県No.1  
 「パワーソング」を決めるライブコンテストの決勝大会。  
**12月23日(木・祝) 16:00開演**  
 横浜赤レンガ倉庫1号館 3Fホール  
 入場料:1,500円+1ドリンク500円  
 お問い合わせ:NPO法人アークシップ ☎045-243-2247  
 または神奈川県文化課 ☎045-210-3808

**神奈川県立芸術劇場(KAAT)開館記念式典**  
 開館を祝う能『翁』と式典に県民の方をご招待! (『翁』出演/翁:観世清和、三番叟:野村萬齋)  
**2011年1月11日(火) 13:30～16:00**  
 対象:神奈川県内在住・在勤・在学の方 人数:計500名(応募者多数の場合は抽選)  
 申込締切:11月30日(火) [消印有効] 申込方法:往復はがきかHPから。URL: <http://www.kaat.jp/>  
 下記1～5をもれなくご記入の上、返信用はがきに返信先の郵便番号、住所および氏名を忘れずにご記入いただき、  
 下記宛先までお送りください。(当落の結果は、12月下旬頃、全員にお知らせします。)  
 1.希望人数(1通につき2名まで) 2.お名前(フリガナ) 3.郵便番号・住所  
 4.電話番号 5.(県内に在住でない方のみ)勤務先又は通学先の住所 ※未就学児童入場不可(託児なし)  
 神奈川県立芸術劇場「開館記念式典P」係 〒231-0023横浜市中区山下町281  
 お問い合わせ:神奈川県立芸術劇場 ☎045-633-6500

横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

横浜赤レンガ倉庫イベント広場

アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫

12月4日(土)~2011年2月28日(月)

※2月21日は施設点検日のため休業

光のアートとアイススケートのコラボレーションイベント。今年はりよんのアーティスト集団がアート部門を担当する。

時間:平日13:00~22:00 土日祝11:00~22:00

※日没~22:00点灯

料金:大人(高校生以上)500円 小人(小中学生)400円 幼児(3歳以上)300円 貸靴料500円

お問合せ:☎045-211-1515



神奈川県立音楽堂

エレヌ・グリモー ピアノ・リサイタル

2011年1月15日(土) 15:00開演

久々の来日公演を行うフランスのピアニスト、グリモーが新春の音楽堂に登場。モーツァルト、リスト、バルク、バルトークの作品を披露する。

料金:一般5,500円 シルバー(売切)

学生(24歳以下)3,000円

(シルバー・学生券はチケットかながわのみの取り扱い)

お問合せ:チケットかながわ[音楽堂チケットセンター(13:00~17:00月曜休)、県民ホールチケットセンター(10:00~18:00無休)]

☎045-662-8866



© Mat Hennek

横浜みなとみらいホール

ジルヴェスターコンサート 2010-2011

12月31日(金) 21:00開演(24:15終演予定)

飯森範親(指揮)とこの日だけの特別オーケストラ、そして日本を代表する豪華ソリストが出演。

年越しのカウントダウン曲は当日のお楽しみ!

料金:全席指定

S10,000円 A8,500円 B7,000円 C5,000円

お問合せ:☎045-682-2000



森さんぽ 4 

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜散歩

横浜赤レンガ倉庫

2010年2月18日、初雪が降った早朝に撮影。横浜赤レンガ倉庫は来年、2011年4月に創建100周年を迎えるレンガ造りの歴史的建造物。雪にけむる早朝の姿は、普段とは違う趣をみせている。行き方:みなとみらい線「馬車道駅」または「日本大通り駅」から徒歩約6分





 プリウス しんぼくかい **森木会**  
神奈川トヨタ自動車


神奈川トヨタは、地域社会に貢献する活動の一環として「かながわ水源の森林づくり」に企業参加しています。

**神奈川トヨタ**

気分で選ぶ **アートガイド ART GUIDE**

家族で感動したい!  松山バレエ団「くるみ割り人形」▶P6・P7

アートの中で運動したい!  アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫 ▶P8

音色に酔いしれたい!  エレヌ・グリモー ピアノ・リサイタル ▶P8

県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/>  
「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

うまし、あたたし、おもしろし **鈴廣 かまぼこの里**



和の食文化の深みを、観て、触れて、味わっていただけます。

**買 食 遊**

[www.kamaboko.com](http://www.kamaboko.com)  
〒250-0032 小田原市風祭245 電話 0465-24-3141 (代)